

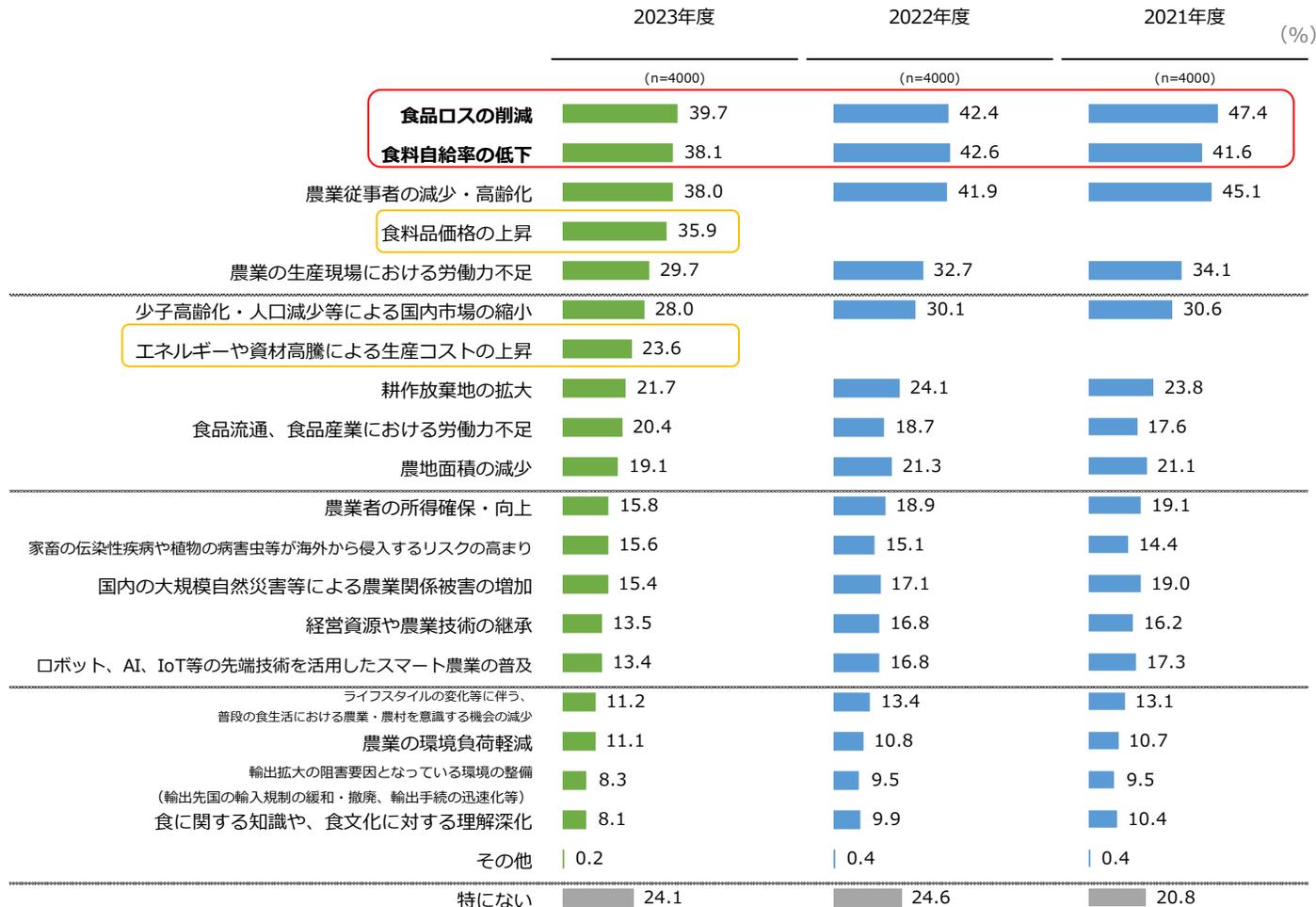
食や農のつながり



- 現在の日本の農業の課題としては、全体で「食品ロスの削減」、「食料自給率の低下」、「農業従事者の減少・高齢化」の順番で認知度が高く、その他では「食料品価格の上昇」、「農業の生産現場における労働力不足」が続いた。

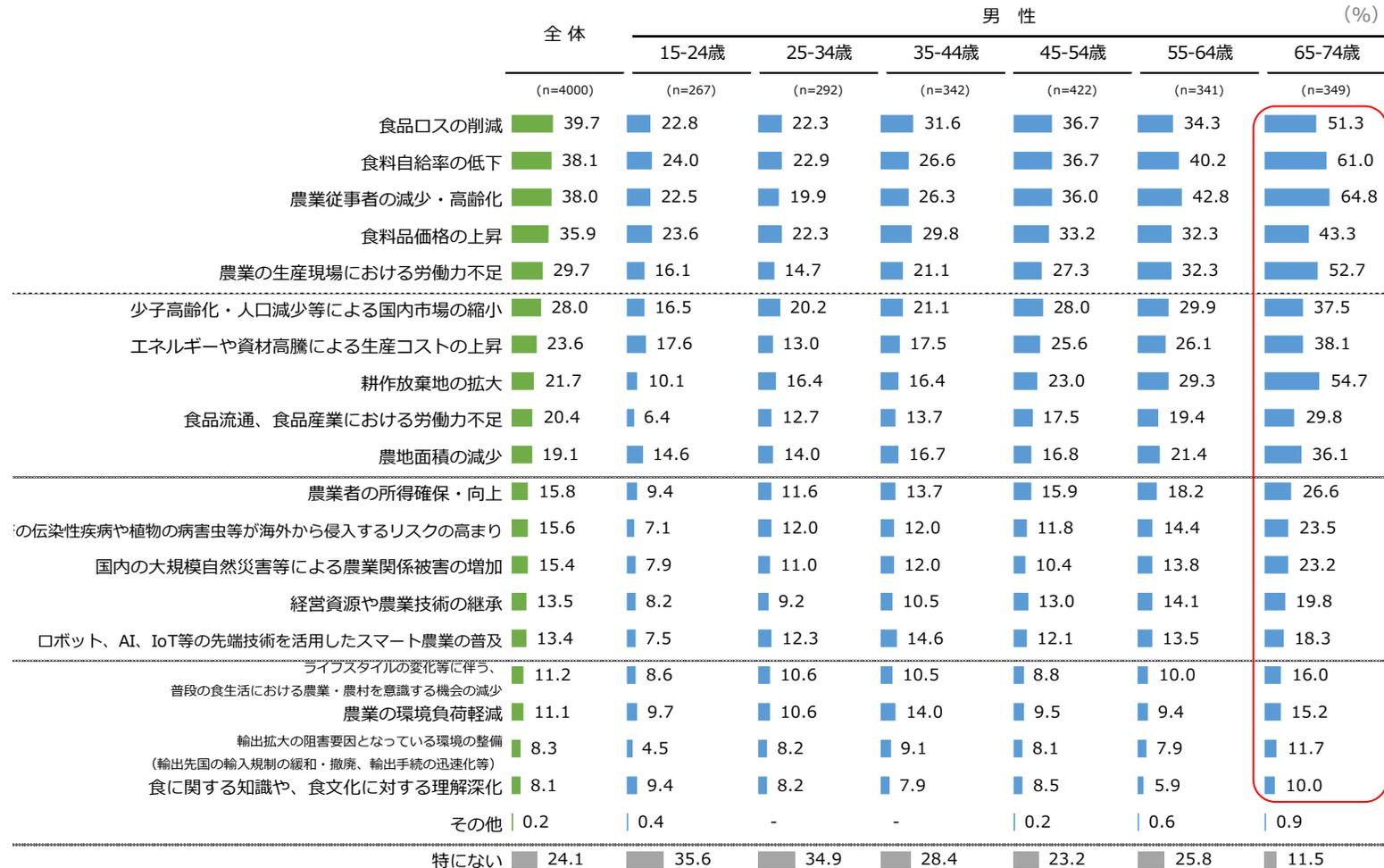
※ 「食料品価格の上昇」、「エネルギーや資材高騰による生産コストの上昇」は2023年度新規聴取項目。

Q16. 現在の日本の農業の課題として、あなたが知っているものを以下からすべてお答えください。(MA)



■ 多くの項目で45-54歳、55-64歳から認知度が高まり、65-74歳が最も高かった。

Q16. 現在の日本の農業の課題として、あなたが知っているものを以下からすべてお答えください。(MA)



■ 女性も35-44歳、45-54歳で多くの課題の認知度は高まり、65-74歳で最も高かった。

Q16. 現在の日本の農業の課題として、あなたが知っているものを以下からすべてお答えください。(MA)

	全体 (n=4000)	女性 (%)					
		15-24歳 (n=254)	25-34歳 (n=275)	35-44歳 (n=329)	45-54歳 (n=410)	55-64歳 (n=340)	65-74歳 (n=379)
食品ロスの削減	39.7	32.3	31.3	47.1	47.6	49.7	57.0
食料自給率の低下	38.1	32.3	23.6	37.7	39.0	45.3	55.7
農業従事者の減少・高齢化	38.0	31.9	22.5	34.3	38.8	44.7	58.6
食料品価格の上昇	35.9	33.9	26.2	38.3	41.5	46.8	50.7
農業の生産現場における労働力不足	29.7	19.3	20.7	23.7	29.3	39.1	48.5
少子高齢化・人口減少等による国内市場の縮小	28.0	27.6	17.1	25.8	28.0	30.9	44.9
エネルギーや資材高騰による生産コストの上昇	23.6	17.3	11.6	18.2	20.7	29.4	39.3
耕作放棄地の拡大	21.7	11.0	6.5	10.9	15.1	22.9	33.8
食品流通、食品産業における労働力不足	20.4	11.0	13.5	19.5	23.4	25.6	41.4
農地面積の減少	19.1	11.8	10.5	11.6	19.0	21.2	28.8
農業者の所得確保・向上	15.8	11.8	9.1	12.5	16.8	17.4	20.8
の伝染性疾病や植物の病害虫等が海外から侵入するリスクの高まり	15.6	12.6	8.4	13.4	16.8	21.2	28.5
国内の大規模自然災害等による農業関係被害の増加	15.4	11.4	8.7	13.7	18.5	22.9	26.1
経営資源や農業技術の継承	13.5	11.8	10.2	9.1	13.4	17.4	20.8
ロボット、AI、IoT等の先端技術を活用したスマート農業の普及	13.4	13.4	11.6	11.2	11.7	16.8	16.4
ライフスタイルの変化等に伴う、 普段の食生活における農業・農村を意識する機会の減少	11.2	12.2	10.2	9.4	12.0	12.4	12.9
農業の環境負荷軽減	11.1	8.3	7.6	7.3	11.2	9.7	17.9
輸出拡大の阻害要因となっている環境の整備 (輸出先国の輸入規制の緩和・撤廃、輸出手続の迅速化等)	8.3	8.3	5.5	5.8	6.8	9.1	13.2
食に関する知識や、食文化に対する理解深化	8.1	5.5	9.1	6.4	8.8	7.4	9.8
その他	0.2	-	-	-	-	-	0.5
特になし	24.1	28.3	36.0	23.1	19.8	19.4	13.5

■ 現在の農業の課題として上位にあがったものは居住エリア別に大きな差はなかった。

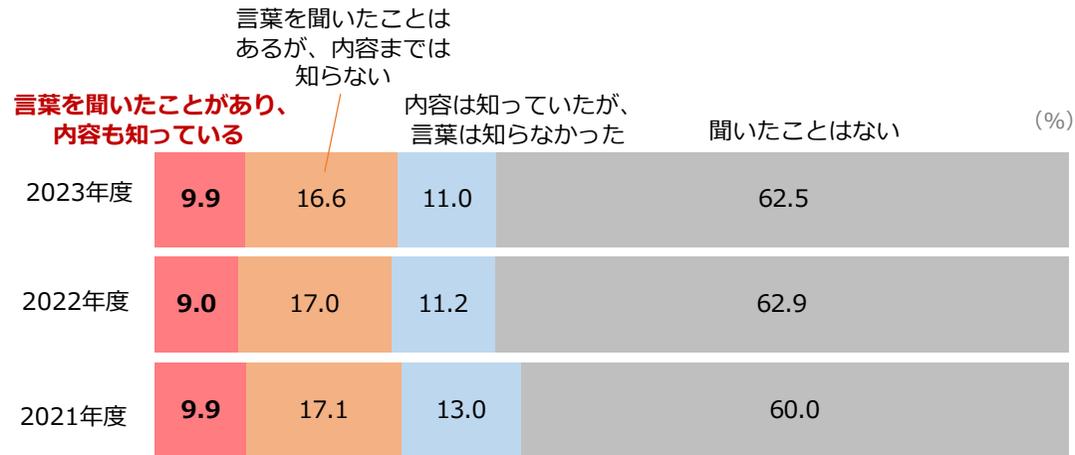
Q16. 現在の日本の農業の課題として、あなたが知っているものを以下からすべてお答えください。(MA)

	全体 (n=4000)	居住エリア								(%)
		北海道 (n=163)	東北 (n=268)	関東 (n=1420)	北陸 (n=158)	東海・東山 (n=564)	近畿 (n=649)	中国 (n=221)	四国 (n=114)	
食品ロスの削減	39.7	42.9	39.6	40.3	35.4	40.6	40.1	38.5	44.7	35.9
食料自給率の低下	38.1	36.2	38.8	39.2	33.5	37.9	36.7	36.7	47.4	37.0
農業従事者の減少・高齢化	38.0	39.9	42.5	37.1	32.3	41.1	38.5	36.2	36.8	36.1
食料品価格の上昇	35.9	34.4	40.3	35.0	29.1	36.9	39.6	36.7	33.3	32.7
農業の生産現場における労働力不足	29.7	28.8	32.8	29.6	23.4	32.4	28.0	30.3	33.3	28.2
少子高齢化・人口減少等による国内市場の縮小	28.0	28.2	31.3	27.3	23.4	27.7	30.8	24.4	36.8	25.3
エネルギーや資材高騰による生産コストの上昇	23.6	22.7	28.4	23.5	24.7	22.0	22.5	26.2	30.7	21.7
耕作放棄地の拡大	21.7	19.6	21.6	22.5	16.5	22.7	20.5	24.0	26.3	20.3
食品流通、食品産業における労働力不足	20.4	19.0	22.4	21.6	15.8	18.4	20.2	21.3	21.9	19.0
農地面積の減少	19.1	19.0	19.0	19.6	13.3	19.5	18.8	19.5	21.9	18.5
農業者の所得確保・向上	15.8	11.0	16.0	15.3	16.5	16.5	17.4	17.2	15.8	14.7
伝染性疾病や植物の病害虫等が海外から侵入するリスクの高まり	15.6	16.0	14.9	17.0	14.6	14.9	14.9	18.1	14.0	12.9
国内の大規模自然災害等による農業関係被害の増加	15.4	17.2	15.7	16.4	13.3	14.2	14.5	17.6	16.7	13.8
経営資源や農業技術の継承	13.5	13.5	11.2	13.2	10.1	14.9	11.9	17.6	17.5	14.0
ロボット、AI、IoT等の先端技術を活用したスマート農業の普及	13.4	15.3	15.3	13.9	9.5	12.6	14.5	13.6	7.0	12.4
ライフスタイルの変化に伴う、 普段の食生活における農業・農村を意識する機会の減少	11.2	8.6	9.0	11.3	10.8	9.9	11.6	17.2	12.3	10.8
農業の環境負荷軽減	11.1	8.0	10.8	11.8	7.0	12.4	10.2	10.9	11.4	11.3
輸出拡大の阻害要因となっている環境の整備 (輸出先国の輸入規制の緩和・撤廃、輸出手続の迅速化等)	8.3	6.1	10.4	8.7	6.3	6.7	8.5	8.6	5.3	9.7
食に関する知識や、食文化に対する理解深化	8.1	5.5	6.3	8.9	7.6	8.9	7.2	9.0	8.8	7.4
その他	0.2	-	0.4	0.1	-	0.2	0.3	0.5	-	0.5
特になし	24.1	24.5	25.7	23.0	27.2	24.1	22.0	26.7	24.6	27.3

- 農業・農村の多面的機能について、「言葉を聞いたことがあり、内容も知っている」は全体の約1割、「言葉を聞いたことはあるが、内容までは知らない」は16.6%と、合わせて3割弱であった。「内容は知っていたが、言葉は知らなかった」は11.0%、「聞いたことはない」は62.5%であった。
- 2021年度から傾向に大きな変化は見られない。

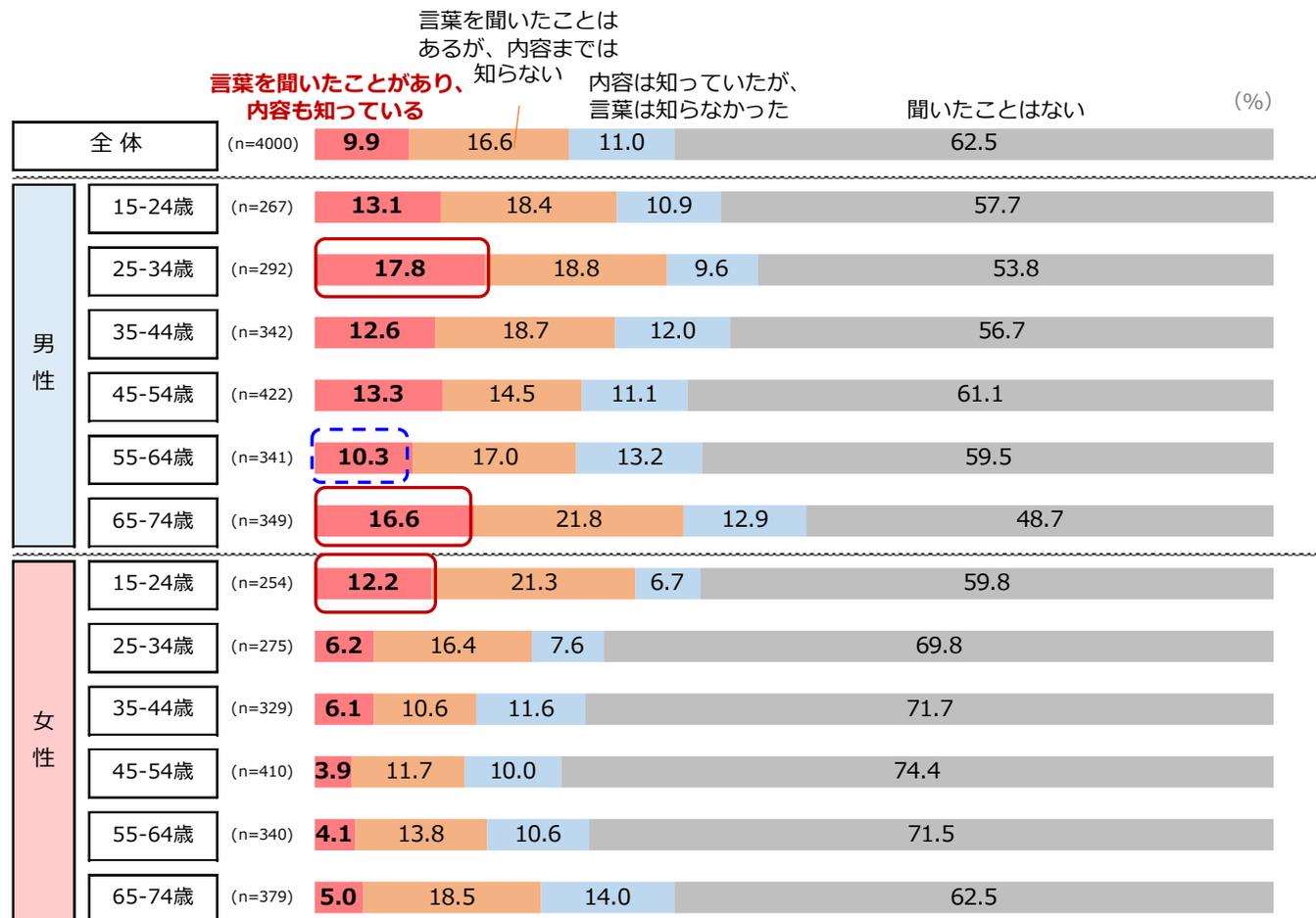
Q17. 農業・農村には食料生産だけではなく、洪水防止等の国土保全、自然環境の保全、良好な景観の形成などの機能があり、これを「農業・農村の多面的機能」といいます。あなたは、この「農業・農村の多面的機能」という言葉を知っていましたか。(SA)

対象者：全体 (n=4,000)



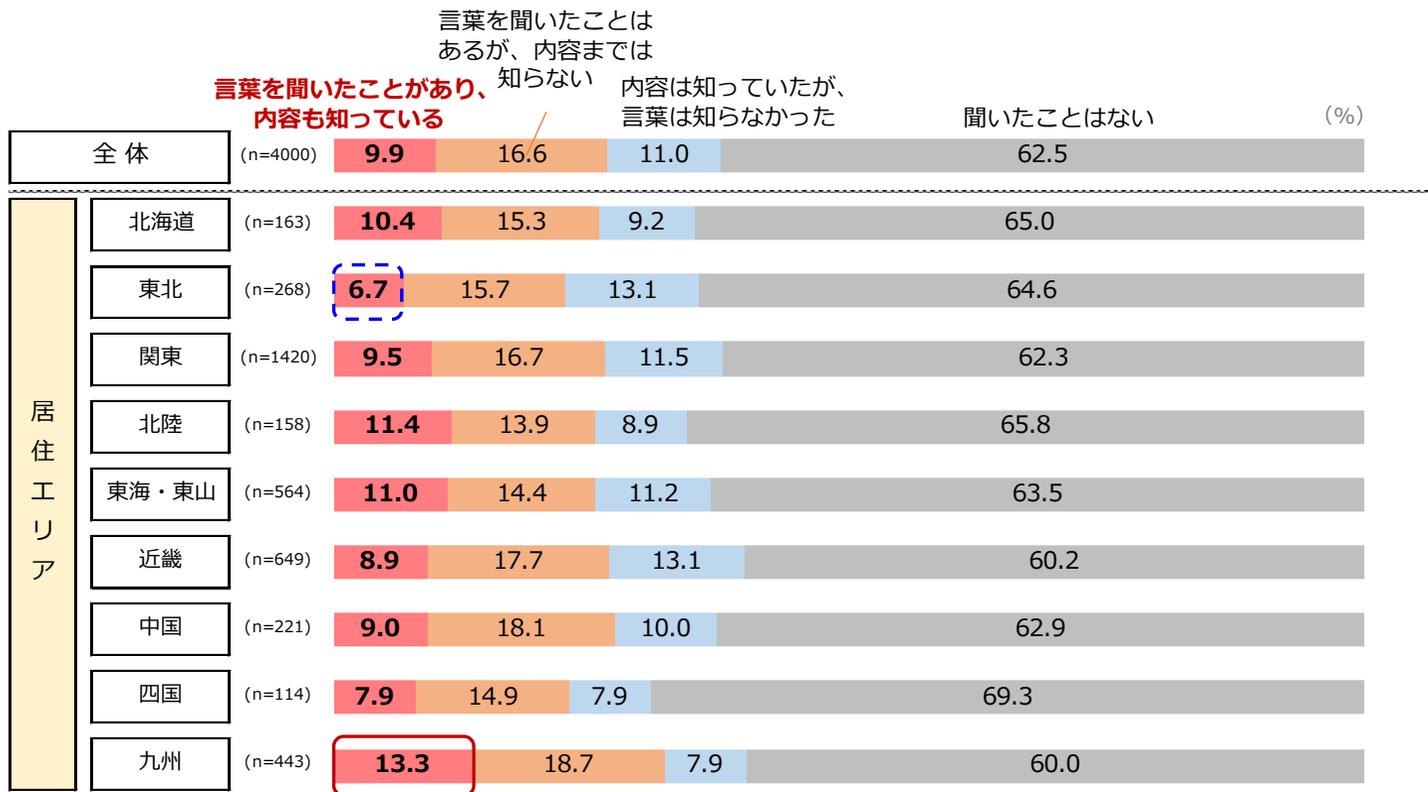
- 男性は「言葉を聞いたことがあり、内容も知っている」は25-34歳、65-74歳で高く、55-64歳で低かった。  
女性も15-24歳で「言葉を聞いたことがあり、内容も知っている」が最も高く、男性に比べて認知度がやや低かった。

Q17. 農業・農村には食料生産だけではなく、洪水防止等の国土保全、自然環境の保全、良好な景観の形成などの機能があり、これを「農業・農村の多面的機能」といいます。あなたは、この「農業・農村の多面的機能」という言葉を知っていましたか。(SA)



■ 居住エリア別では『九州エリア』で「言葉を聞いたことがあり、内容も知っている」が他のエリアよりもやや高かった。

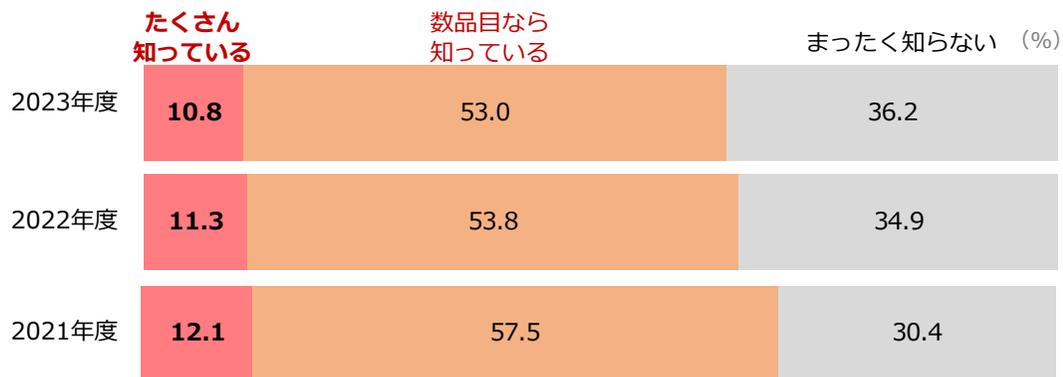
Q17. 農業・農村には食料生産だけではなく、洪水防止等の国土保全、自然環境の保全、良好な景観の形成などの機能があり、これを「農業・農村の多面的機能」といいます。あなたは、この「農業・農村の多面的機能」という言葉を知っていましたか。(SA)



- 自身が住んでいる都道府県や市町村で作っている農産物や特産品を「たくさん知っている」が全体の約1割、「数品目なら知っている」は約5割で、「まったく知らない」は約4割であった。
- 2021年度から「知らない」が微増。

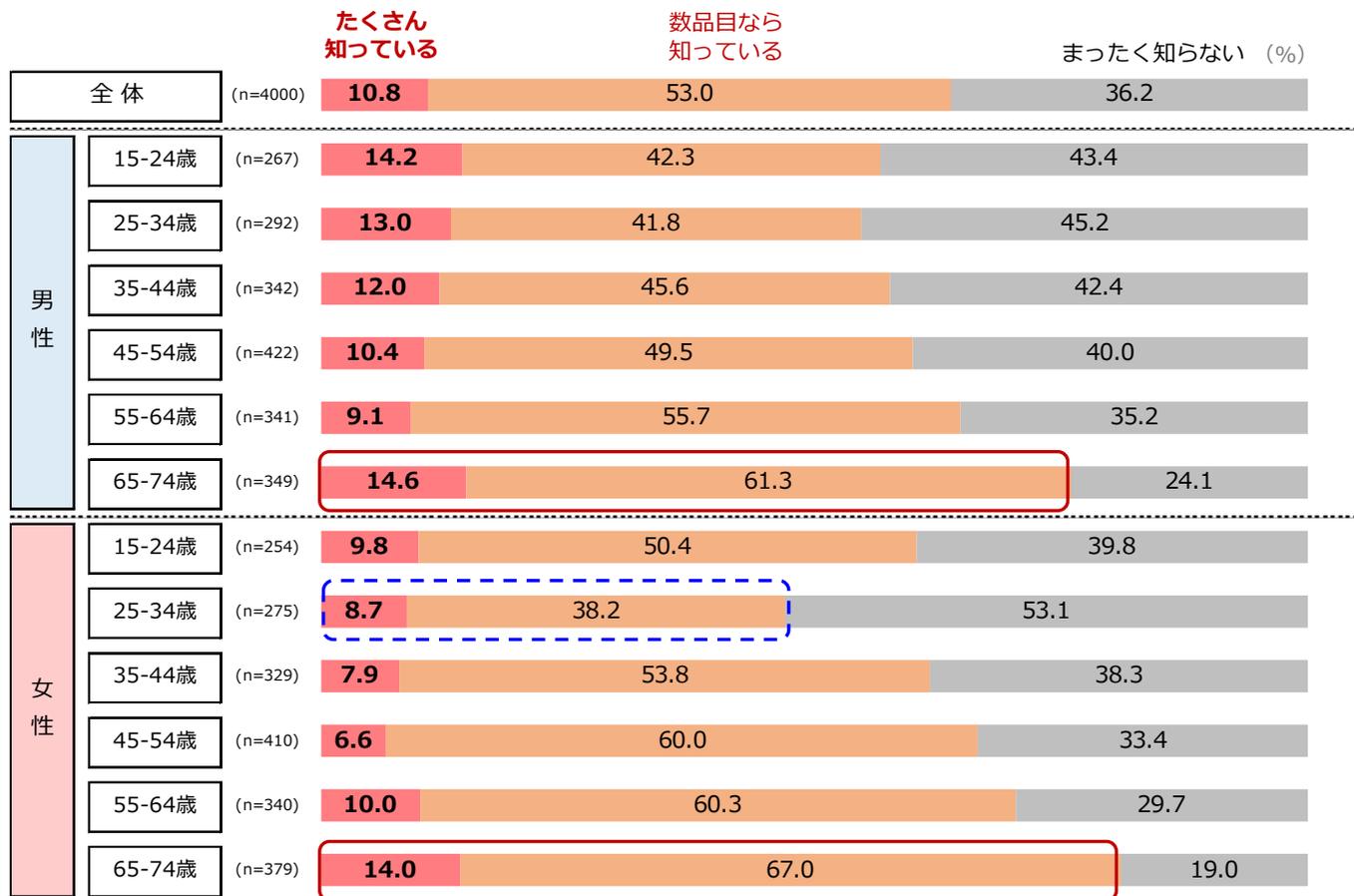
Q18. あなたは、ご自身がお住まいの都道府県あるいは市町村で作られている農産物や特産品を知っていますか。 (SA)

対象者：全体 (n=4,000)



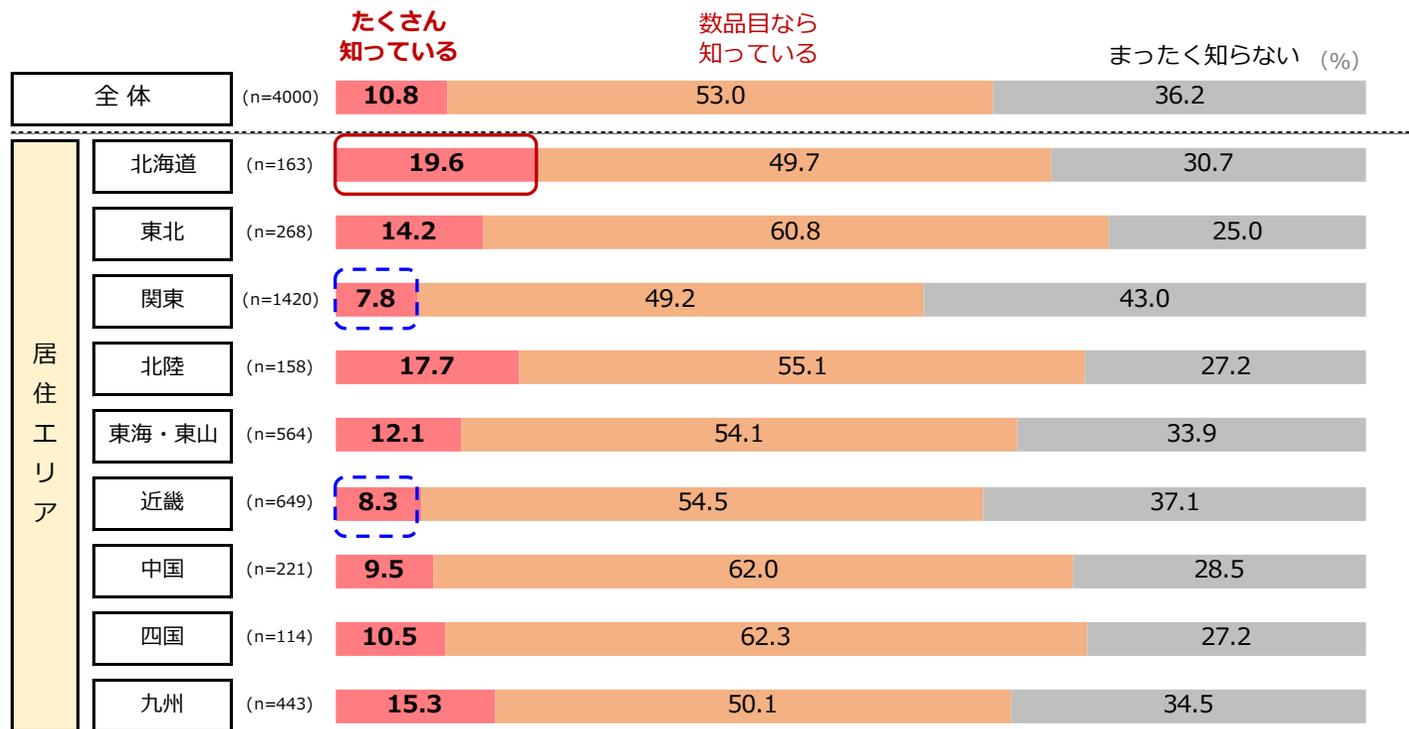
- 男女とも認知度（たくさん知っている、数品目知っているの合計）は65-74歳で最も高かった。  
女性は25-34歳で最も認知度が低かった。

Q18. あなたは、ご自身がお住まいの都道府県あるいは市町村で作られている農産物や特産品を知っていますか。 (SA)



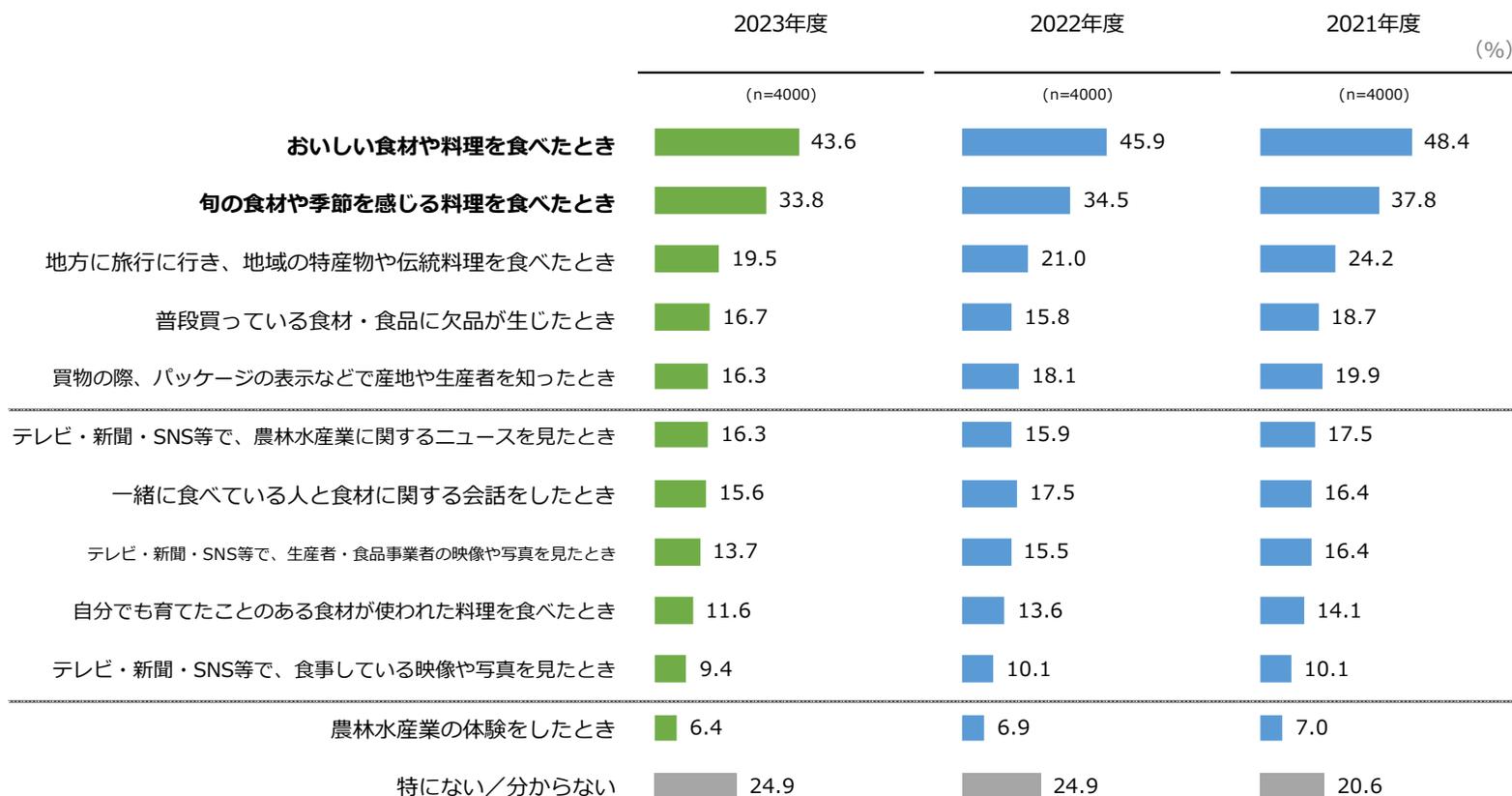
- 居住エリア別では、『北海道エリア』で「たくさん知っている」が2割で最も高く、次いで『北陸エリア』、『九州エリア』と続く。  
一方で『関東エリア』と『近畿エリア』は1割未満となっている。

Q18. あなたは、ご自身がお住まいの都道府県あるいは市町村で作られている農産物や特産品を知っていますか。 (SA)



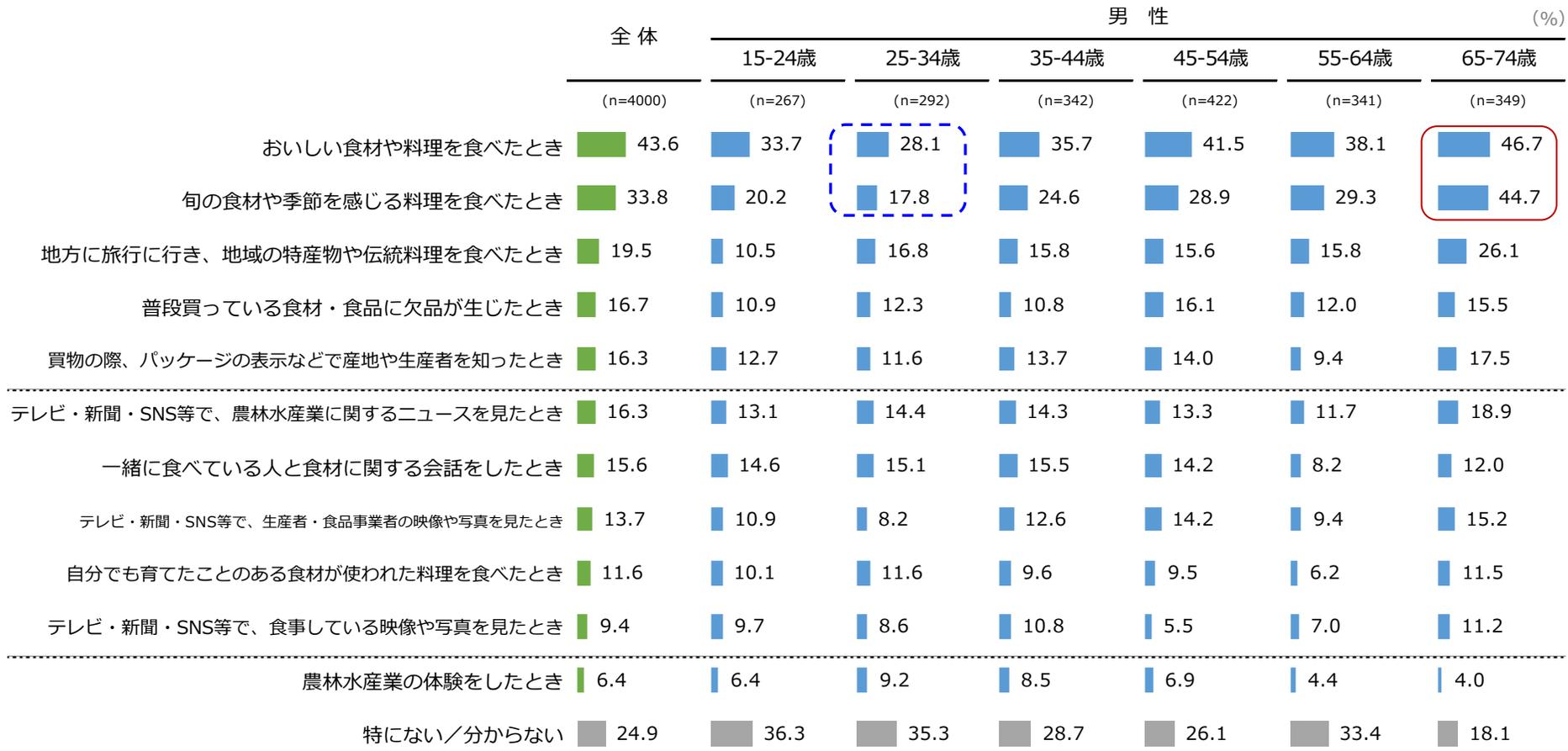
- 食に対して感謝の気持ちを感じるのは、「おいしい食材や料理を食べたとき」が全体の約4割で最も高く、次いで「旬の食材や季節を感じる料理を食べたとき」が約3割であった。
- 2021年度から大きな変化は見られないが、上位2項目はやや減少傾向がうかがえる。

Q19. あなたが「食に対して感謝の気持ち」を感じるのは、どのようなときですか。(MA)



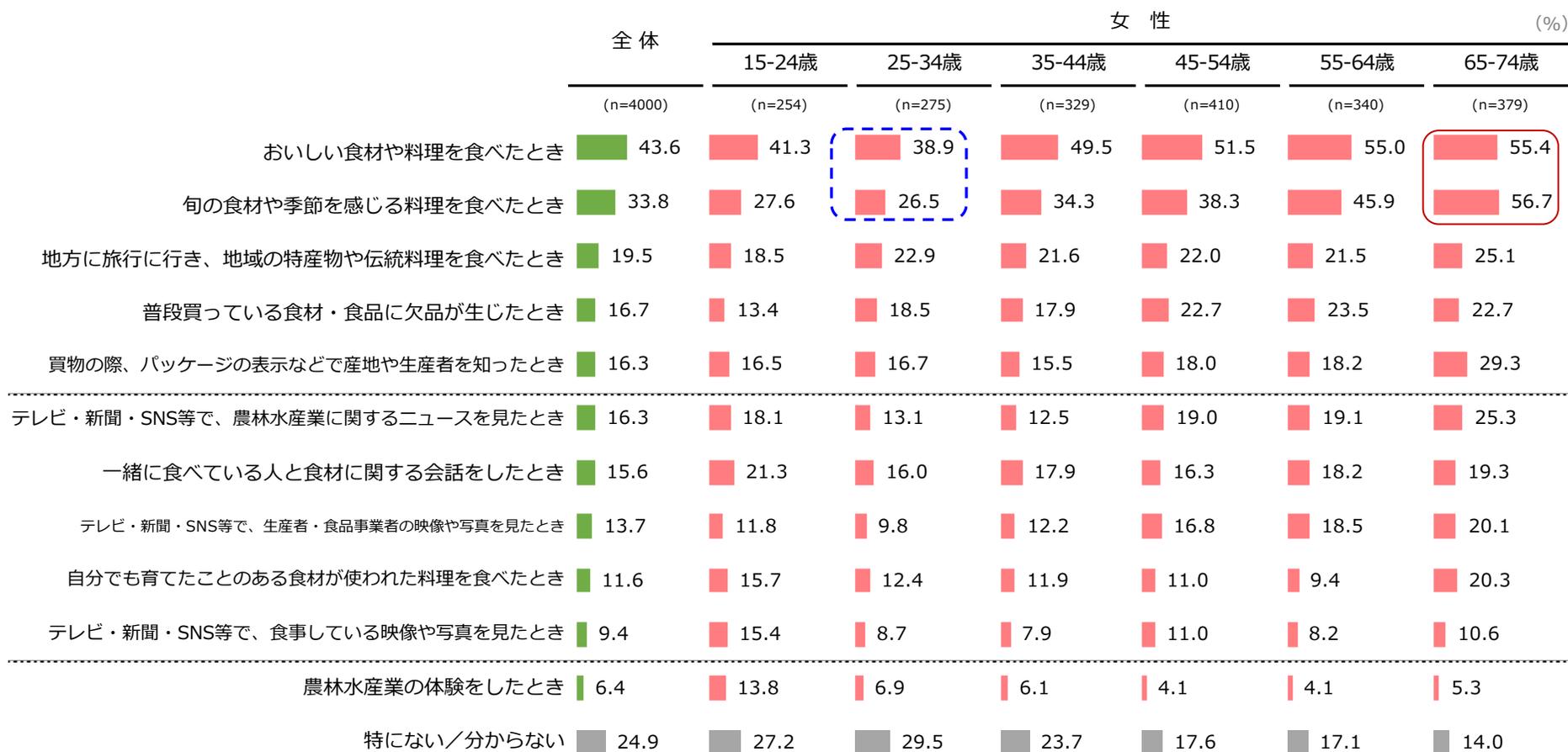
- 全体で割合が高かった「おいしい食材や料理を食べたとき」と「旬の食材や季節を感じる料理を食べたとき」は、ともに65-74歳で高く、25-34歳で低かった。

Q19. あなたが「食に対して感謝の気持ち」を感じるのは、どのようなときですか。(MA)



- 男性と同様に全体の上位2項目は、65-74歳が最も高かった。
- 全体で2番目に割合が高かった「旬の食材や季節を感じる料理を食べたとき」は男性は65-74歳が突出して高いのに対して、女性は25-34歳から徐々に増加傾向が伺える。

Q19. あなたが「食に対して感謝の気持ち」を感じるのは、どのようなときですか。(MA)



■ 居住エリア別では、『四国エリア』では「おいしい食材や料理を食べたとき」が他のエリアよりやや高かった。

Q19. あなたが「食に対して感謝の気持ち」を感じるのは、どのようなときですか。(MA)

	全体 (n=4000)	居住エリア (%)								
		北海道 (n=163)	東北 (n=268)	関東 (n=1420)	北陸 (n=158)	東海・東山 (n=564)	近畿 (n=649)	中国 (n=221)	四国 (n=114)	九州 (n=443)
おいしい食材や料理を食べたとき	43.6	41.1	46.6	43.9	42.4	41.3	45.9	38.5	50.0	42.9
旬の食材や季節を感じる料理を食べたとき	33.8	32.5	36.9	34.2	29.1	33.9	33.4	33.5	36.8	32.7
地方に旅行に行き、地域の特産物や伝統料理を食べたとき	19.5	16.0	20.1	20.6	22.2	20.7	19.9	16.3	11.4	17.8
普段買っている食材・食品に欠品が生じたとき	16.7	21.5	14.6	16.8	17.7	16.3	17.1	15.4	13.2	16.9
買物の際、パッケージの表示などで産地や生産者を知ったとき	16.3	14.7	14.6	16.5	14.6	15.8	17.4	19.9	14.9	15.8
テレビ・新聞・SNS等で、農林水産業に関するニュースを見たとき	16.3	19.0	14.9	15.9	15.8	17.9	16.8	18.6	9.6	14.9
一緒に食べている人と食材に関する会話をしたとき	15.6	12.3	17.2	15.9	15.2	16.3	16.6	10.9	15.8	15.1
テレビ・新聞・SNS等で、生産者・食品事業者の映像や写真を見たとき	13.7	8.0	16.0	13.7	9.5	13.1	15.4	14.9	13.2	13.3
自分でも育てたことのある食材が使われた料理を食べたとき	11.6	10.4	10.4	10.0	12.0	12.4	13.1	13.6	10.5	13.3
テレビ・新聞・SNS等で、食事している映像や写真を見たとき	9.4	9.2	7.8	8.5	7.0	11.5	10.6	9.5	7.0	10.4
農林水産業の体験をしたとき	6.4	5.5	4.1	5.4	7.6	7.1	6.8	9.5	3.5	8.8
特にない／分からない	24.9	26.4	28.0	24.2	27.2	26.1	23.1	23.1	26.3	25.7

# 食や農に関する情報の入手経路

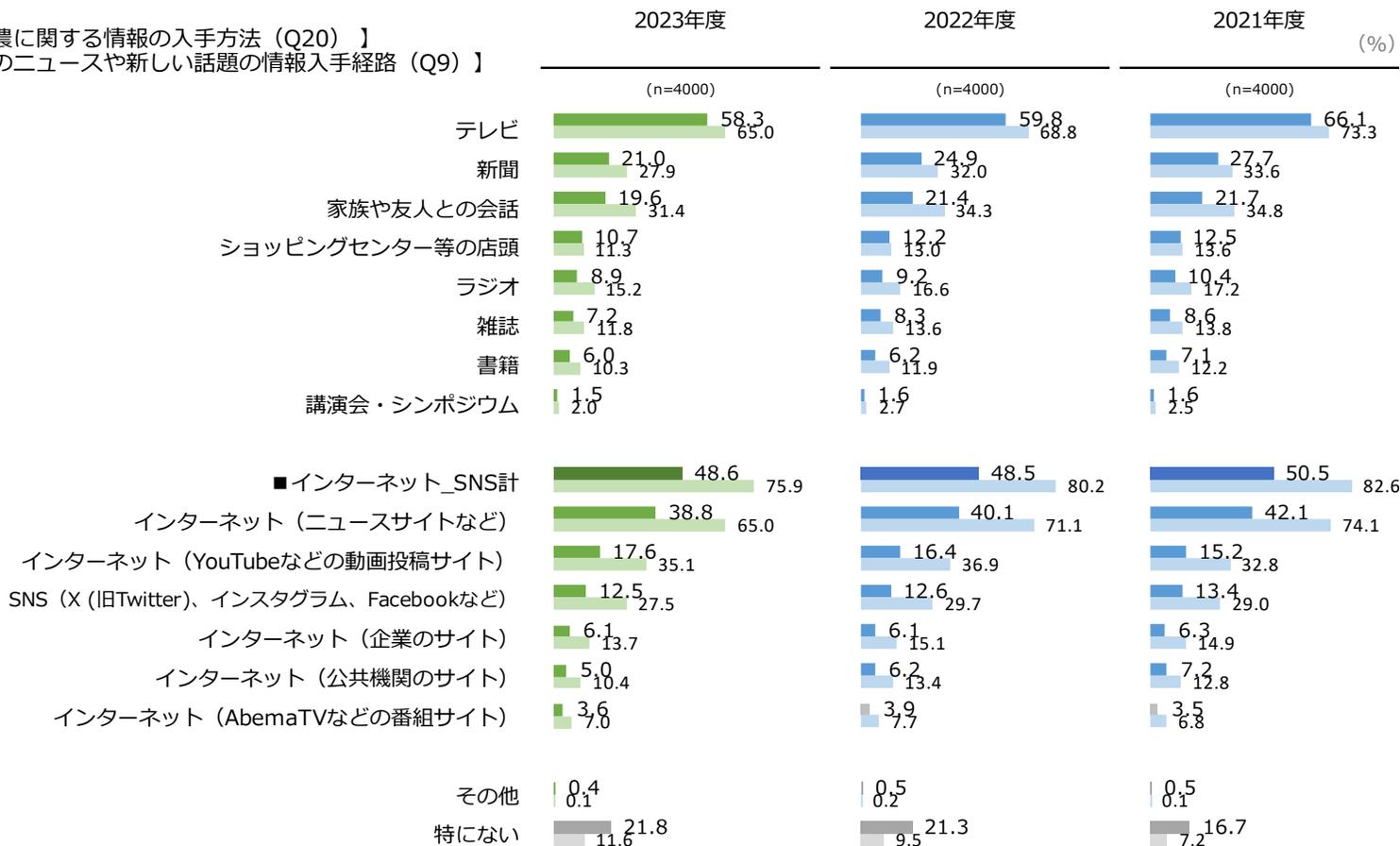
## (ふだんのニュースや新しい話題の情報入手経路との比較) 【全体】

- 食や農に関する情報の入手経路は、「テレビ」が全体の約6割で最も高く、次いで「インターネット（ニュースサイトなど）」が約4割であった。
- ふだんのニュースや新しい話題の入手経路と比較すると、食や農に関する情報の方がいずれの媒体も低いですが、傾向は同様であった。
- 2021年度から大きな変化は見られないが、従来型メディアがやや減少傾向が伺える。

Q20. あなたはふだん、「食や農業に関する情報」をどこから得ることが多いですか。(MA)

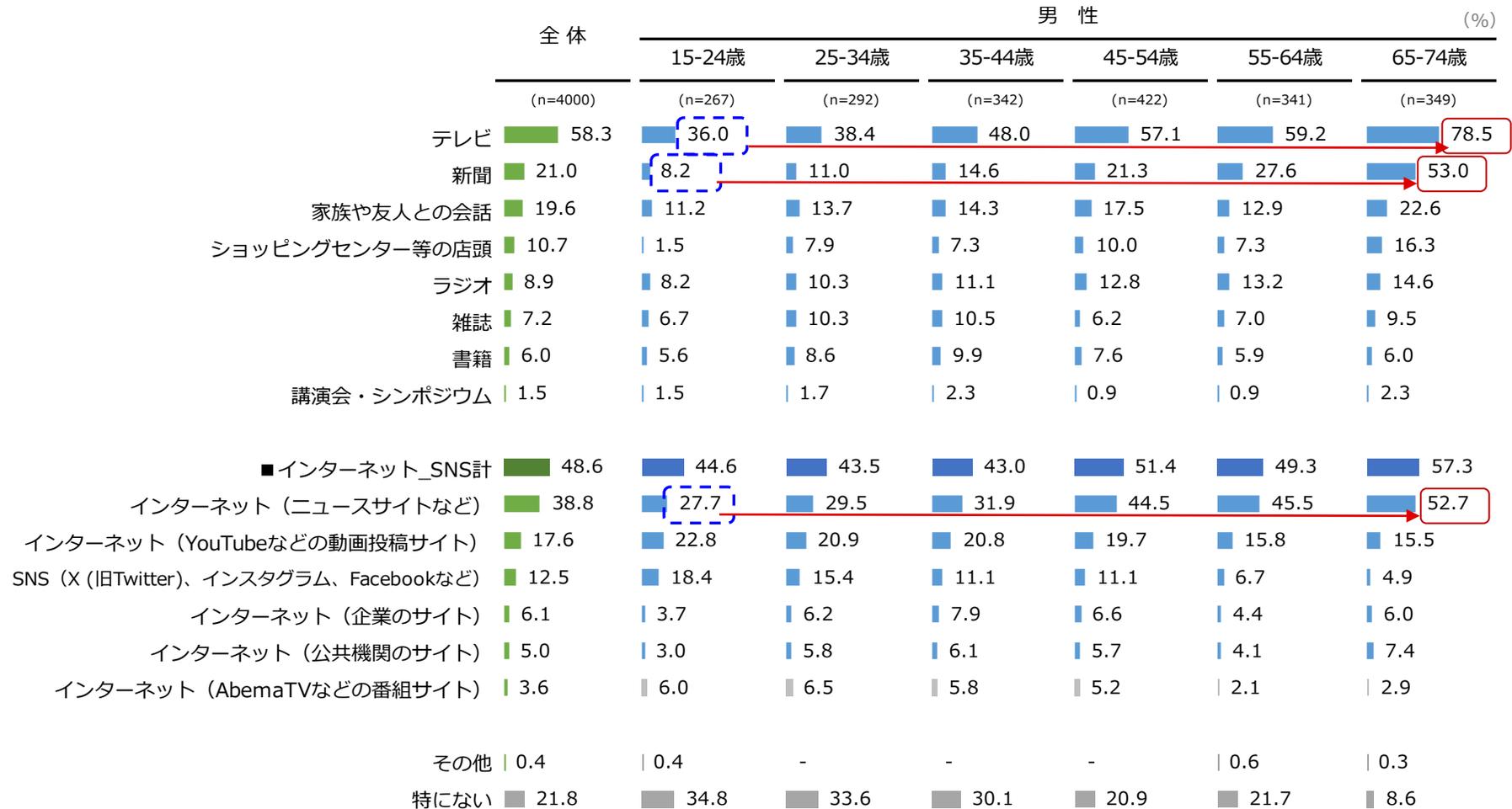
グラフ上段：【食や農に関する情報の入手方法 (Q20)】

グラフ下段【ふだんのニュースや新しい話題の情報入手経路 (Q9)】



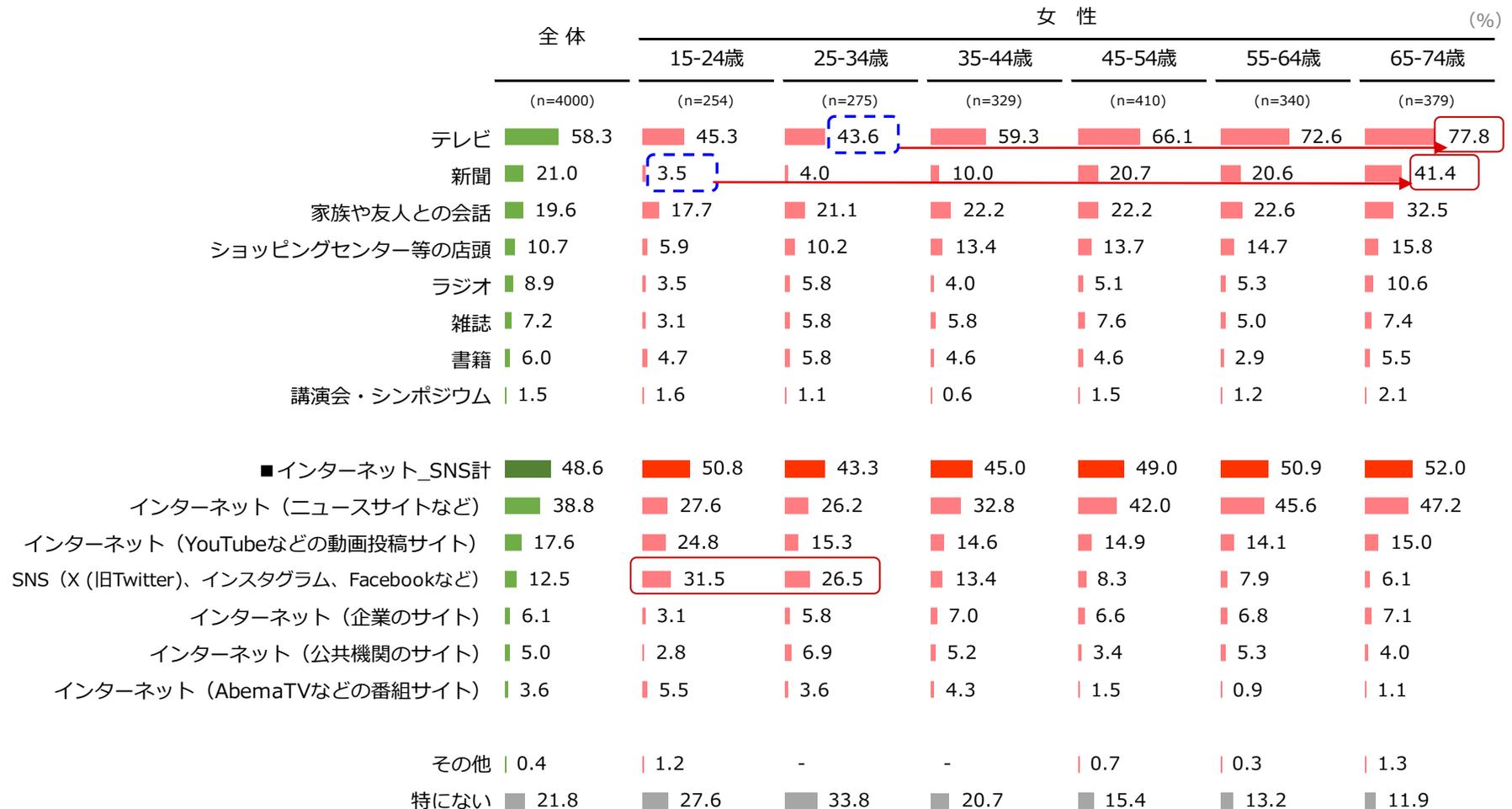
■ 「テレビ」、「新聞」、「インターネット（ニュースサイトなど）」はいずれも若年層で低く65-74歳が最も高かった。

Q20. あなたはふだん、「食や農業に関する情報」をどこから得ることが多いですか。（MA）



- 男性と同様に「テレビ」、「新聞」は高齢層ほど高かった。  
ただし、15-24歳、25-34歳は「SNS」が他の世代より高いことが特徴的な結果となった。

Q20. あなたはふだん、「食や農業に関する情報」をどこから得ることが多いですか。（MA）



■ 居住エリア別に大きな差はなかった。

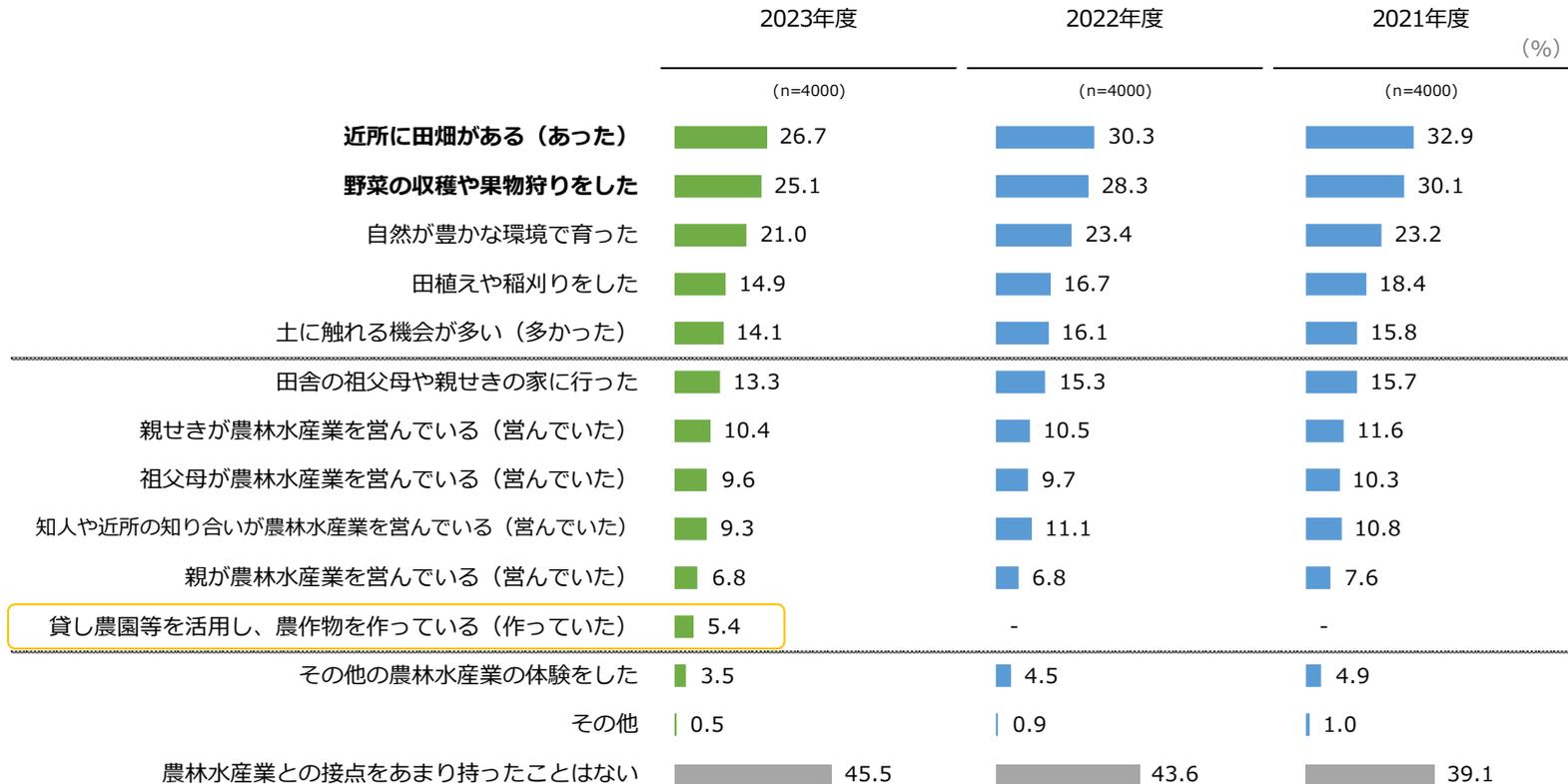
Q20. あなたはふだん、「食や農業に関する情報」をどこから得ることが多いですか。(MA)

	全体 (n=4000)	居住エリア								(%)
		北海道 (n=163)	東北 (n=268)	関東 (n=1420)	北陸 (n=158)	東海・東山 (n=564)	近畿 (n=649)	中国 (n=221)	四国 (n=114)	
テレビ	58.3	64.4	62.3	57.4	50.0	57.8	57.9	63.3	63.2	56.9
新聞	21.0	25.8	22.0	19.6	25.3	23.0	19.3	24.4	21.9	19.0
家族や友人との会話	19.6	17.2	17.9	19.9	17.1	20.6	20.5	14.9	18.4	21.2
ショッピングセンター等の店頭	10.7	8.0	10.1	10.7	10.1	9.9	12.2	11.3	13.2	10.4
ラジオ	8.9	9.2	11.9	8.2	9.5	9.4	8.0	10.4	8.8	9.0
雑誌	7.2	1.2	6.0	8.2	4.4	7.4	6.6	5.0	7.9	8.8
書籍	6.0	0.6	4.1	7.7	5.1	7.1	5.1	2.3	8.8	5.2
講演会・シンポジウム	1.5	1.2	0.4	1.3	0.6	2.7	1.5	2.7	2.6	0.7
■ インターネット_SNS計	48.6	47.9	47.8	51.3	36.7	47.3	50.5	45.2	41.2	47.6
インターネット (ニュースサイトなど)	38.8	35.6	39.6	40.8	28.5	37.4	41.9	36.2	33.3	36.8
インターネット (YouTubeなどの動画投稿サイト)	17.6	18.4	18.7	17.7	10.8	17.9	19.7	13.6	14.0	17.8
SNS (X (旧Twitter)、インスタグラム、Facebookなど)	12.5	12.9	11.2	13.0	12.7	11.7	13.3	7.7	10.5	14.2
インターネット (企業のサイト)	6.1	4.3	4.9	7.3	3.8	6.2	6.6	3.6	4.4	5.0
インターネット (公共機関のサイト)	5.0	3.1	4.1	5.3	4.4	5.3	5.2	3.6	4.4	5.6
インターネット (AbemaTVなどの番組サイト)	3.6	1.8	1.9	4.1	1.3	4.6	3.9	1.4	2.6	4.5
その他	0.4	1.2	0.7	0.4	-	-	0.2	0.5	-	0.9
特にない	21.8	19.0	21.6	21.1	27.8	22.5	22.0	20.8	21.1	21.9

- これまでの農林水産業との接点は、「近所に田畑がある（あった）」と「野菜の収穫や果物狩りをした」の2つが全体の2割強と高かった。一方で、「農林水産業との接点をあまり持ったことはない」が全体で4割強となった。
- 2021年度から「農林水産業との接点をあまり持ったことはない」は増加傾向。

※「貸し農園等を活用し、農作物を作っている（作っていた）」は2023年度新規聴取項目。

Q21. あなたはこれまでに持った農林水産業との接点として、あてはまるものを以下からすべてお答えください。（MA）



■ 全体で最も割合が高かった「近所に田畑がある（あった）」は65-74歳で高く、15-24歳では低かった。

Q21. あなたはこれまでに持った農林水産業との接点として、あてはまるものを以下からすべてお答えください。（MA）

	全体 (n=4000)	男 性 (%)					
		15-24歳 (n=267)	25-34歳 (n=292)	35-44歳 (n=342)	45-54歳 (n=422)	55-64歳 (n=341)	65-74歳 (n=349)
近所に田畑がある（あった）	26.7	16.5	17.1	24.9	23.0	27.3	38.4
野菜の収穫や果物狩りをした	25.1	16.1	15.8	21.3	22.3	21.7	28.4
自然が豊かな環境で育った	21.0	13.5	8.9	18.1	20.4	21.7	29.2
田植えや稲刈りをした	14.9	15.7	13.0	14.0	14.2	15.5	19.2
土に触れる機会が多い（多かった）	14.1	10.9	9.2	11.7	14.2	12.3	18.6
田舎の祖父母や親せきの家に行った	13.3	10.1	9.6	13.7	14.5	10.6	16.3
親せきが農林水産業を営んでいる（営んでいた）	10.4	6.0	9.9	9.1	9.2	10.3	15.8
祖父母が農林水産業を営んでいる（営んでいた）	9.6	7.9	14.4	9.6	10.2	7.9	7.7
知人や近所の知り合いが農林水産業を営んでいる（営んでいた）	9.3	7.5	9.6	9.1	12.1	8.8	12.9
親が農林水産業を営んでいる（営んでいた）	6.8	6.0	7.2	6.7	7.6	5.6	10.3
貸し農園等を活用し、農作物を作っている（作っていた）	5.4	7.5	9.9	6.4	3.6	4.4	8.0
その他の農林水産業の体験をした	3.5	3.7	2.4	2.9	3.3	5.3	4.9
その他	0.5	-	-	0.6	0.5	1.2	0.9
農林水産業との接点をあまり持ったことはない	45.5	53.6	51.0	48.2	44.8	49.9	32.4

■ 女性の65-74歳は男性よりも他の年代との差が大きく、接点が多い傾向が伺える。

Q21. あなたはこれまでに持った農林水産業との接点として、あてはまるものを以下からすべてお答えください。(MA)

	全体 (n=4000)	女 性 (%)					
		15-24歳 (n=254)	25-34歳 (n=275)	35-44歳 (n=329)	45-54歳 (n=410)	55-64歳 (n=340)	65-74歳 (n=379)
近所に田畑がある (あった)	26.7	25.2	23.3	28.3	26.6	30.0	34.6
野菜の収穫や果物狩りをした	25.1	27.2	22.2	26.4	27.3	27.1	40.6
自然が豊かな環境で育った	21.0	18.5	15.6	23.7	22.0	21.5	32.7
田植えや稲刈りをした	14.9	20.9	19.6	12.5	12.2	10.3	14.8
土に触れる機会が多い (多かった)	14.1	14.2	12.7	14.0	12.4	13.5	23.2
田舎の祖父母や親せきの家に行った	13.3	12.2	13.5	15.8	14.6	13.8	12.4
親せきが農林水産業を営んでいる (営んでいた)	10.4	5.9	9.8	10.6	10.7	11.5	13.7
祖父母が農林水産業を営んでいる (営んでいた)	9.6	10.6	10.9	8.8	7.6	11.2	9.2
知人や近所の知り合いが農林水産業を営んでいる (営んでいた)	9.3	7.9	7.6	6.7	5.6	9.1	12.7
親が農林水産業を営んでいる (営んでいた)	6.8	4.7	6.5	2.7	5.1	9.4	9.0
貸し農園等を活用し、農作物を作っている (作っていた)	5.4	4.7	5.1	3.3	4.4	4.1	4.2
その他の農林水産業の体験をした	3.5	3.1	5.5	3.3	2.4	1.8	3.7
その他	0.5	0.4	-	-	0.2	0.3	1.6
農林水産業との接点をあまり持ったことはない	45.5	41.7	48.0	45.0	47.3	47.6	39.1

- 居住エリア別に差があり、『四国エリア』や『北陸エリア』は「近所に田畑がある（あった）」の割合が高く、『北海道エリア』は割合が低かった。

Q21. あなたはこれまでに持った農林水産業との接点として、あてはまるものを以下からすべてお答えください。（MA）

	全体 (n=4000)	居住エリア (%)								
		北海道 (n=163)	東北 (n=268)	関東 (n=1420)	北陸 (n=158)	東海・東山 (n=564)	近畿 (n=649)	中国 (n=221)	四国 (n=114)	九州 (n=443)
近所に田畑がある（あった）	26.7	13.5	32.1	23.5	36.1	31.7	27.1	28.1	36.8	24.4
野菜の収穫や果物狩りをした	25.1	27.0	26.9	23.4	24.1	27.0	24.2	31.2	26.3	24.8
自然が豊かな環境で育った	21.0	22.1	29.5	16.1	25.9	22.5	20.0	26.7	33.3	23.3
田植えや稲刈りをした	14.9	8.6	22.4	11.9	19.6	18.1	12.9	17.2	19.3	17.4
土に触れる機会が多い（多かった）	14.1	18.4	14.2	11.3	16.5	15.2	14.0	18.1	21.1	15.8
田舎の祖父母や親せきの家に行った	13.3	13.5	15.3	12.0	12.7	14.5	13.9	12.7	11.4	14.2
親せきが農林水産業を営んでいる（営んでいた）	10.4	10.4	15.7	10.1	12.0	11.3	8.8	10.4	10.5	9.0
祖父母が農林水産業を営んでいる（営んでいた）	9.6	9.8	7.8	9.2	8.2	11.0	9.7	11.3	11.4	8.8
知人や近所の知り合いが農林水産業を営んでいる（営んでいた）	9.3	8.6	10.8	7.1	13.9	10.8	9.9	8.1	8.8	11.5
親が農林水産業を営んでいる（営んでいた）	6.8	7.4	9.0	5.4	9.5	7.8	6.0	8.6	7.9	7.7
貸し農園等を活用し、農作物を作っている（作っていた）	5.4	3.7	1.9	5.5	7.6	6.2	6.2	5.0	2.6	5.4
その他の農林水産業の体験をした	3.5	3.7	3.4	2.7	4.4	4.1	3.9	2.7	6.1	4.1
その他	0.5	0.6	-	0.4	0.6	0.7	0.3	0.9	-	0.9
農林水産業との接点をあまり持ったことはない	45.5	46.0	41.4	49.6	37.3	45.0	46.1	39.8	35.1	42.7